明治~昭和期の日本の 雑誌・新聞記事の探し方

2021.7 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当

記載している情報はいずれも2021年6月時点で確認した情報です。

皆さんこんにちは。

E-learning教材「明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方」を始めます。 一般誌・大衆誌・新聞等の実際の記事を確認して、当時の文化や社会を研究 する方に有効な内容です。 大学院生・研究者の方にも、卒論を準備する3・4年生の方にも、幅広く参考 になる内容です。

本教材のフォーカス

発行時期

明治・大正・昭和期

対象とする資料

日本の一般誌・大衆誌の記事

学術雑誌論文は対象外!

日本の新聞の記事

これらの資料について、記事情報を探す方法と、

実際に入手する方法をご紹介します。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

はじめに、本教材で扱う内容をお示しします。

対象としては、明治から昭和期に日本で発行された、一般誌・大衆誌および 新聞の記事です。

記事の中には、雑誌や新聞上で連載・投稿された文芸作品なども含みます。 これらの記事情報を探す方法と実際に入手する方法の要点をご紹介します。

本講習会の構成

1. 雑誌記事情報の探し方

2. 新聞記事情報の探し方

3. 実際に記事を入手する

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

本教材の構成としては、このような形です。

まず、必要な記事の情報を探す方法を、雑誌記事、新聞記事の順に紹介します。

そして得られた記事情報をもとに、実際に記事自体を入手する方法を最後に 紹介します。

1.雑誌記事情報の探し方

それでは、雑誌記事情報の探し方を詳しくお話していきます。

探索ツールの概要

網羅的なデータベースは無い

条件に該当する記事を探している(=特定の記事で無い)場合は、 複数の探索ツールを併用し、他にも該当記事が無いかを確認してみる必要がある。

書誌索引や参考図書等の紙の資料にしか無い情報も多い

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事は、

データベースやWeb上では検索できないが、紙の資料に情報がある

というケースがまだまだ多い。

主要な書誌索引・参考図書を頭に入れておくと探索の幅が広がる。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

まず、雑誌記事情報の探索ツールの概要です。

残念ながら、このデータベースさえ検索すれば全ての記事情報を探すことが できる、というデータベースは存在していません。

ある検索条件に該当する記事をできるだけ多く探したいという場合、1つの データベースで検索を終えず、複数のデータベースや、書誌索引・参考図書 といった紙の調査ツールを併せて使用する必要があります。

明治〜昭和期の日本の雑誌記事に関しては、紙の書誌索引や参考図書でしか 探せない情報もまだまだ存在しています。こういった紙の資料を頭に入れて おくと探索の幅が広がります。

データベース活用のポイント

どのような雑誌のどのような年代が収録されているかを知る

データベースのヘルプページや、提供元Webサイトで、収録内容を確認する

収録内容が明記されていない場合は、内容を探ってみる

雑誌名を指定して検索:自分がよく活用するいくつかの雑誌名で検索してみる 記事の出版年を指定して検索:自分が着目している年代の収録記事量を探る

どのような検索機能があるか知る

「詳細検索」機能など高度な検索機能を確認 AND検索やOR検索など、キーワードの掛け合わせができるか

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

具体的なデータベースを紹介する前に、すべての文献データベースに共通す る、データベース活用のポイントをおさえておきます。

まず、データベースを有効に活用するには、収録内容を知っておくことが大 切です。

データベースのヘルプページや提供元Webサイトで収録内容を確認できます。 ただ、詳細な収録内容は明記されていないことが多いので、自分で内容を 探ってみるとよいでしょう。

例えば、研究対象の雑誌名で検索し、収録があるか、ある場合どの年代の収 録があるか、を確認するというような形です。

また、多くのデータベースには詳細検索など、高度な検索機能が備わっています。

AND検索やOR検索といった、キーワードの掛け合わせも可能な場合が多いです。

文献データベース検索では、何が検索出来ているのか、どういった検索方法が可能なのか、といったことを把握してから活用することが大切です。

データベース活用のポイント



OR検索の有効な活用場面

ペンネームや本名など、ある人物の書いた もしくはある人物についての記事を漏れなく 検索したい

ex.「森鴎外」と「森林太郎」

組織や事項の名称のさまざまな呼び方や、 名称の変遷を含めて検索したい ex.「大阪大学」と「大阪帝国大学」

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

キーワードの掛け合わせ方法である、AND検索とOR検索について、もう少し説明します。

AND検索は、2つのキーワードを両方含むもの、という検索方法です。こちらはイメージしやすいですね。

一方のOR検索は、2つのキーワードのどちらかを含むもの、という検索方法 です。

有効な場面としては、本名に加えてペンネームもあるような人物の著作を漏 れなく検索したい、といったケースがあります。

このほか、ある事項に対して複数の名称や記載方法があるものを漏れなく検索したい、という場合にも有効です。

とくに本教材で扱うようなテーマでは、ちょっとした記事であっても、でき るだけ漏れなく探したいということが多いと思います。 文献データベースでキーワード検索する際は、OR検索のキーワードの候補を 事前にきちんと検討したうえで、活用すると良いでしょう。



ここで、CiNii Articlesについて簡単に触れておきます。日本語論文を検索する際に、利用されている方が多いデータベースかと思います。

CiNii Articlesは、学術雑誌論文を検索することに主眼を置いて記事情報を収 録しています。

そのため、一般誌・大衆誌の記事情報の収録は少なく、本教材の対象とする ような資料の検索には有用ではありません。

学術雑誌論文を検索したい場合は、CiNii Articlesなどの論文データベースを 活用し、

ー般雑誌記事を検索したい場合は、このあと紹介する雑誌記事データベース や紙の資料を活用する、というように検索ツールを使い分ける必要がありま す。



ここから、具体的なデータベースについて詳しく紹介していきます。 1つ目に紹介するデータベースが、雑誌記事索引集成データベース「ざっさ くプラス」です。

明治~昭和期の日本の一般誌・大衆誌記事情報を収録したデータベースとしては、一番収録量が多いので、まずここから検索すると良いでしょう。

ざっさくプラスは大阪大学で契約している有料のデータベースで、大阪大学 ご所属の皆様は利用可能です。

過去に紙で出版された目録・総目次等から独自に索引した目次データを中心 に、後ほど紹介する国立国会図書館デジタルコレクションの目次データなど、 幅広く情報を収録しています。現在も継続して、収録情報を増やしてくれて います。



ざっさくプラスへのアクセス方法を紹介します。

大阪大学のキャンパス内からアクセスする際には、

- 1. 附属図書館Webサイトトップページの「クイックサーチ」で「データベー ス」タブに切り替える
- 2. 「すべてのタイトルを表示」をクリック
- 3.「雑誌記事索引集成データベース」を選択

という手順です。

大阪大学のキャンパス外からアクセスする際には、

- 1. 附属図書館Webサイトトップページの「キャンパス外から電子リソース を使う」のアイコンをクリック
- 2. 「データベースへのアクセス」の中から、該当のデータベースをクリック
- 3. 大阪大学個人IDとパスワードでのログインを行う という手順です。



こちらがざっさくプラスの最初の画面です。 画面上部にて、「簡易検索」「詳細検索」「図版検索」の3つのモードの切 り替えが可能です。 ここでは「簡易検索」モードについて解説していきます。

「簡易検索」モードのキーワード検索対象は「論題名」と「著者名」です。 今回は「森鴎外」というキーワードで検索を行います。



検索を行うと、このようなグラフが表示され、グラフの下に出版年の古い順 に記事情報が並んでいます。

このグラフは、ざっさくプラス内の出版年ごとの収録記事件数を表示したものです。

グラフ中のある年をクリックすると、検索結果一覧のうち、その年代のとこ ろまで飛ぶことができて便利です。

例えば、1904年の記事情報を見てみます。

 ①雑誌記事索 (ざっさくプ 	引集成データベース ゚ラス)
旦蓮聖人辻説法 森鷗外作 明治37年3月31日,歌舞伎(歌舞伎発行所), 伎座興行)	279
旦蓮聖人辻説法 森鴎外 明治37年,歌舞伎,3月31日号	280
■ <u>日蓮聖人辻說法</u> 森鷗外 1904-03,歌舞伎,(47)	さまざまな情報源からデータを採録しているため、 同じ記事の情報が重複して存在している場合がある。 ⇒「論題名」をクリックした先の情報なども踏まえて、 同じ記事かどうか見極める。
	明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ざっさくプラスの検索結果を見ていく際の留意点として、重複データの存在 があります。

さまざまな情報源から記事情報を収録していて、それらの情報が統合されず に重複して表示されているためです。

例えば、この「日蓮聖人辻説法」は、明治37年すなわち1904年発行の雑誌 『歌舞伎』の3月発行号に掲載されているものですが、重複データと思われ るものが3つヒットしてきます。

論題名をクリックした先の詳細情報も踏まえて、同じ記事情報かどうか見極める必要があります。

①雑誌記事索引集(ざっさくプラス	成データベース)
簡易検索 蘇鴎外 OR 森林太郎 表: ● 20件 ● 50件 ● 100件	AND検索 → 検索窓に「キーワード△キーワード」と入れる OR検索 → 検索窓に「キーワード△OR△キーワード」と入れる ※ △は半角スペース ペンネームや外国の地名・人名表記などを含めた同義語検索機能が一部あるが、 何が同義語の対象になっているかは公開されていない。 ⇒正確な検索をしたいときは、きちんとOR検索するほうがおすすめ。
<	278
日	279 一 蓮聖人辻説法鷗外森博士新作歌舞
明治~昭和	期の日本の雑誌・新聞記事の探U方

次にAND検索とOR検索について紹介しましょう。 AND検索は、二つのキーワードの間に半角スペースを入れるだけです。 OR検索は、二つのキーワードの間に、半角スペース、大文字のOR、半角ス ペース、という形で入力します。

ここでは、森鴎外と、本名の森林太郎をOR検索してみます。 こうすることで、森鴎外名義のものと、森林太郎名義のもの、どちらも同時 に検索することができます。

実際のところ、ざっさくプラスには、簡易的な同義語検索機能があり、「森 鴎外」で検索した際には、「森林太郎」も自動で検索できるようになってい ます。ただし、「森林太郎」で検索した際には、「森鴎外」は検索されない という、一方通行の仕様になっています。

何がどのように同義語検索できているのかという情報は公開されていないため、正確な検索を行いたいときは、自分でキーワードを検討してOR検索する ほうがおすすめです。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

詳細検索モード

雑誌名を指定した検索が可能。

ただし、簡易検索モードのような、論題名+著者名の検索窓が無いので、漏れなく検索したいときには少し不便。(次スライド参照)

図版検索モード

「図版や写真がついていそう」な記事を検索できるモード ざっさくプラス側で、実際に図版や写真がついているか確認しているわけではないの で、注意。

※論題等に「図版」「写真」などのキーワードが入っているものを機械的に抽出しているだけ。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、ざっさくプラスでの操作を実演しながら解説していま す。】

「簡易検索」以外のモードも少し説明しておきます。

画面左上のロゴをクリックすると、最初の画面へ戻ることができます。

「詳細検索」モードでは、雑誌名を指定した検索など、項目を指定した検索 が可能です。

「図版検索」モードでは、図版や写真が付いていると推定される記事を検索 できます。ざっさくプラス側で、実際に図版や写真が掲載されているかどう かを確認しているわけではないという点には留意が必要です。



詳細検索モードでの「著者名」検索について少し補足です。

一般誌・大衆誌に多い、インタビュー記事や座談会記事などの場合、ざっさくプラスでは論題欄に人物名が記述されていることも多いです。
 著者名検索をしたいシチュエーションとしては、その人が書いたこと・話したことをできるだけ拾いたい、という時かと思います。
 簡易検索モードであれば「論題名」と「著者名」を同時に検索できるので、
 簡易検索モードのほうが漏れの無い検索が可能であるといえます。

②国立国会図書館デジタルコレクション

主な収録内容 <u>https://dl.ndl.go.jp/ja/intro.html#idx4-1</u>

国立国会図書館所蔵の図書

→1968年までに受け入れた約97万冊(うち目次データは約77万冊)

国立国会図書館所蔵の雑誌

→2000年までに発行された約134万冊(1号=1冊、ほぼすべてに目次データあり)

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

2つ目に紹介するデータベースが、国立国会図書館デジタルコレクションです。

名称のとおり、国立国会図書館所蔵の図書と雑誌をデジタル化して、画像閲 覧や記事・目次検索をできるようにしたものです。

図書については主に1968年までに受け入れたもの、雑誌については主に2000 年までに発行されたものが収録内容となっています。

②国立国会図書館デジタルコレクション

画像は3段階の公開レベルがある

インターネット公開 いつでもどこでも閲覧・ダウンロードできる

図書館送信限定 図書館内の専用PCでのみ閲覧できる

平日9:00~17:00 (総合図書館相互利用カウンタ / 外国学図書館3Fレファレンスカウンタにて) 印刷は職員が行います (25円/私費 10円/公費)

国立国会図書館内限定

国立国会図書館に直接行くもしくは複写を取寄(取寄不可の資料が一部あり)

	インターネット 公開	図書館送信 限定	国立国会図書館内 限定	
図書	約36万冊	約55万冊	約7万冊	※令和3年3月現在。現在もデジタル化 作業を行っており、件数は増加中。
雑誌	約1万冊	約81万冊	約51万冊	

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

著作権の保護状態によって、デジタル化資料の公開レベルは3段階に設定されています。

一番ゆるやかなレベルが「インターネット公開」で、これは無料でいつでも 利用できるものです。

次のレベルが、「図書館送信限定」です。これは、国立国会図書館と特別な 提携をしている図書館内の専用PCからのみ利用できるものです。 大阪大学では、総合図書館と外国学図書館が提携しており、図書館内の専用

PCで閲覧できます。閲覧は無料で、印刷の場合は、印刷代がかかります。 一番厳しいレベルが、「国立国会図書館内限定」です。このレベルのものは、 直接国立国会図書館に行くか、複写を取り寄せることになります。

各公開レベルに該当する冊数はこの表のとおりです。 雑誌に関しては、インターネット公開のものはほとんど無く、図書館送信限 定が6割を占めています。



【動画教材では、国立国会図書館デジタルコレクションでの操作を実演しな がら解説しています。】

国立国会図書館デジタルコレクションは、無料でどこからでもアクセスできます。 Googleなどで「国立国会図書館デジタルコレクション」と検索すると、見つかるかと思います。 https://dl.ndl.go.jp/

記事情報を検索するデータベースとして利用する際には、検索窓下の3つの 公開レベル全てにチェックを入れるようにしましょう。

「図書館送信限定」と「国立国会図書館限定」の資料であっても、目次情報 の検索は無料でどこからでもできるので、このように設定するのがおすすめ です。

②国立国会図書館デジタルコレクション <u>半生の文章</u> 図書 🎬 大町桂月 著 (広文<mark>年, 1307) (西日次) (1</mark>75) - 「インターネット公開」です。 31 目次:夏日漱石論 🔿 学生タイムス.2(1) 国立国会図書館/図書館送信限定 雑誌 (学生タイムス社, 1907-01) 10日次・巻号 32 目次:將來の文章 / 夏目漱石 Э 滑稽文学.1(1) 国立国会図書館/図書館送信限定 雑誌 (滑稽文学社, 1907-01) ←目次·巻号 33 目次:清稽文學 / 夏目漱石 🔿 教育研究.(35) 国立国会図書館限定 建誌 初等教育研究会 編 (初等教育研究会, 1907-02) [+目次·巻号] 34 目次: •新刊批評 •吾輩は猫である/夏目漱石 ④ 3つの公開レベルはアイコンで一目で分かるようになっています。 以下のどちらのアイコンも付いていないものは、インターネット公開です。 · 「国立国会図書館/図書館送信限定」 · [国立国会図書館限定] 明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、国立国会図書館デジタルコレクションでの操作を実演しな がら解説しています。】

例えば、「夏目漱石」というキーワードで検索してみます。 そうすると、このように検索結果一覧が表示されます。雑誌の誌名・記事名、 図書の書名・目次などの書誌事項をまとめて検索してくれます。

3つの公開レベルは、アイコンで一目で分かるようになっています。 「図書館送信限定」は黄色のアイコン、「国立国会図書館内限定」は黒のア イコンです。 それ以外のものは「インターネット公開」のレベルです。



【動画教材では、国立国会図書館デジタルコレクションでの操作を実演しな がら解説しています。】

AND検索は、二つのキーワードの間に半角スペースを入れるだけです。 一方で、OR検索をしたい場合は、まず詳細検索モードに切り替える必要があ ります。

詳細検索画面で、二つのキーワードの間に半角スペースを入れたうえで、入 力欄右側のプルダウンで「OR」を選択するとOR検索が可能です。 ここでは、夏目漱石と本名の夏目金之助をOR検索してみます。 こうすることで、夏目漱石名義のものと、夏目金之助名義のもの、どちらも 同時に検索することができます。

国立国会図書館デジタルコレクションには、同義語検索機能は無いので、漏 れの無い検索を行いたいときはOR検索を活用しましょう。

②国立国会図書館デジタルコレクション



詳細検索モードでは、資料種別を「雑誌」だけに絞った検索もできます。 雑誌名を指定した検索など、より詳細な検索が可能です。 「著者・編者」の項目は、雑誌自体の著者・編者を検索するもので、記事の

著者は検索されないので注意してください。

2つのデータベースの収録範囲の関係性

明治~昭和(戦前まで)の雑誌目次データ

ざっさくプラスには、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが**収録されている**。(ただし、一部収録漏れがある模様)

国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが荒い場合、ざっさくプラス側で目次データを詳細にして採録し直しているものも多い。(=ざっさくプラスのほうが検索性が高い。次スライド参照)

昭和(戦後から)の雑誌目次データ

ざっさくプラスには、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データは基本的には**収録されてい**ない。

一方で、ざっさくプラスは多くの情報源から目次データを収録しているので、実際には2つのデータベースの収録範囲はある程度重なっていると思われる。

図書目次データ

ざっさくプラスには、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データは**収録されていない**。 (そもそも、ざっさくプラスは雑誌記事情報のデータベースであり、基本的に図書目次は対象外)

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここまで紹介した2つのデータベースについて、雑誌記事情報の収録範囲の 関係性を説明します。 雑誌の発行時期によって状況が違ってきます

雑誌の発行時期によって状況が違ってきます。

明治から昭和戦前期までは、ざっさくプラスに、国立国会図書館デジタルコ レクションの目次データが収録されています。 ですので、基本的にはざっさくプラスが国立国会図書館デジタルコレクショ ンを包含している、というイメージになります。

一方で、昭和戦後以降は、ざっさくプラスに、国立国会図書館デジタルコレ クションの目次データは収録されていません。

そのため、2つのデータベースそれぞれを検索するほうが良いでしょう。 ただし、ざっさくプラスは他の多くの情報源から目次データを採録している ので、結果的には、2つのデータベース両方に収録されている情報は多いか と思います。

2つのデータベースの収録範囲の関係性



国立国会図書館デジタルコレクションでは、残念ながら目次情報が「荒い」 ことがあります。 国立国会図書館デジタルコレクションのデータをざっさくプラスに取り込む

際に、より詳細に目次情報を取ってくれている場合があります。 こういった観点からも、2つのデータベースを両方検索してみることが有効 です。

③Web-OYA bunko

有料のデータベース / 大阪大学では未契約

大阪府立中央図書館、大阪市立中央図書館、国立国会図書館関西館などに直接行けば、利用可能。(2021年6月現在の状況)

主な収録内容

週刊誌・女性誌・月刊総合誌など、大宅壮一文庫で所蔵している雑誌の記事を採録したもの。

・1988年以降の雑誌記事索引を約450万件

・『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』に収録された1987年以前の索引データ約100 万件(明治時代の記事3,600件、大正時代の記事1万件、昭和期は昭和63年までの記事 100万件)

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

3つ目に紹介するデータベースが、Web-OYA bunkoです。

大宅壮一文庫で所蔵している雑誌記事を検索できるようになっているデータ ベースです。

週刊誌や女性誌など、ここまで紹介した2つのデータベースでは収録の少な いジャンルをカバーしています。

ただ残念ながら、大阪大学では現在このデータベースを契約していません。

③大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

冊子の書誌索引 / 総合図書館に所蔵あり

本編(明治~1984年、1985~1987年、1988~1995年)と追補(1888~1987年) あり。

★配架場所:総合図-書庫2階書誌·索引 R027.5||OYA||(巻)

主な収録内容

週刊誌・女性誌・月刊総合誌など、大宅壮一文庫で所蔵している雑誌の記事を採録したもの。

本編と追補編を併せると、明治~1995年までの期間で、索引数は約225万件。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

そこで代替資料として紹介するのが、紙の資料『大宅壮一文庫雑誌記事索引 総目録』です。

総合図書館に一式所蔵しているので、明治期から1995年発行の雑誌記事を検 索することができます。

データベースのほうはどちらかというと平成期以降の記事検索を主眼として 作成されているので、明治~昭和期の雑誌記事情報については、この紙資料 を使えば基本的には事足りるはずです。

③大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

2種類の索引を有効に活用する。

人名編

国内外著名人について、その人物に関する記事を索引したもの。 もちろん著者である記事も含むが、著者索引ではない。

件名編

雑誌記事を事項別、事件別に分類して索引したもの。 独自の大宅式分類法によって分類されている。

件名編の利用手順(推奨)

1)「件名総索引」で、探したい項目の件名が何にあたるのかを確認する。

2) 1) で狙いを定めた件名を用いて、総目録本体の件名編で探す。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

紙の資料『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』の利用にあたっては、索引の 号を有効に活用しましょう。

「人名編」と「件名編」の2種類があります。

「件名編」を使用する際には、まず「件名総索引」を活用して、自分が探したい内容がどういった件名で採られているのか確認してから使用するようにしましょう。

3つのデータベース等の簡単な比較

どれか1つにしか収録されていない情報も多い 広く情報を探したいときは、3つともチェックするのがおすすめ

国立国会図書館 デジタルコレクション	探索から画像確認までシームレス 他2つには無い、図書の目次情報が充実
大宅壮一文庫	大衆誌やサブカルチャー誌に強い 関連記事をまとめて探しやすい索引がある

ここまで紹介してきた3つのデータベース等の簡単なまとめです。

ざっさくプラスは、独自データ多数で最大の収録記事量を誇ります。

国立国会図書館デジタルコレクションは、図書の目次情報を検索できるという強みがあります。

大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録は、大衆誌やサブカルチャー誌に強いです。

どれか1つにしか収録されていない情報も多いので、できるだけ広く情報を 探したいときは、3つとも確認するようにしましょう。

紙の資料について:主な種類

総目次

雑誌の目次情報を集めて収録した資料。複数誌を集めて収録したものと、1誌のみを対象に したものがある。

a) 複数誌を集めたもの

発行時期で限定、分野で限定、作成機関の所蔵資料に限定、等さまざまなケースがある。 全体の索引の有無で利便性が大きく違う。 存在を知らないと蔵書検索で見つけるのが難しい。

b) 1誌のみのもの

主に、図書等として改めて発行される場合と、該当誌内で節目に収録される場合がある。 前者→蔵書検索がしやすい

ex. 雑誌名と、目録 or 目次 or 総覧 or 索引 or 細目 など で検索

後者→存在を把握しづらいので、総目次の総覧などを活用

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここからは書誌索引や参考図書といった、紙の資料について紹介していきま す。

紙の調査ツールには、いくつかジャンルがあります。

まず「総目次」と呼ばれるジャンルのものがあり、名前のとおり、雑誌の目 次情報を集めて収録したものです。 複数の雑誌を対象にしたものと、1誌のみを対象にしたものがあります。

複数誌を集めたものは、発行時期で集めたものや、分野で集めたものなどさ まざまです。 蔵書検索では見つけ出すことが難しいため、いくつかメジャーなものをあら

かじめ知っておくと便利です。

複数誌を横断した索引が備わっていれば、指定した条件でまとめて検索でき るようなものなので重宝します。

1誌のみを対象にした総目次は、図書等として改めて発行される場合と、その雑誌内で1年単位や100号単位などの節目に収録される場合があります。 後者は存在を探し出すのが難しいため、「総目次の総覧」というジャンルの 資料を活用して、まずは総目次の掲載箇所を探し出すことになります。

紙の資料について:主な種類

ある人物に関する文献目録

事典のように多くの人物を収録したものから、特定の人物のみに焦点をあてたものまでさ まざま。後者を参照できれば豊富な情報を得られる。図書として刊行されるケースや、雑 誌論文として発表されるケースなどがある。 採録対象については、著作に限っているもの、その人物を対象にした研究文献も含めてい るものなどさまざま。

★1つの文献目録に頼りすぎない

・文献目録刊行後に発表された文献がある可能性

・その文献目録には含まれていない文献がある可能性

代表的な紙の資料については、別途掲載している『参考資料:明治~昭和の雑誌記事を探すために有効な冊子資料について』をご参照ください。



明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ある人物に関する文献目録というジャンルもあります。 ある人物を対象に研究を進めていく場合は、まずこういった文献目録の存在 がないかきちんと探索すると調査が捗ります。

文献目録刊行後に発表された文献を調査する必要があること、また、文献目 録が見逃している文献が存在する可能性があることには注意が必要です。文 献目録をベースにしつつ、データベース等の他のツール類を使って、追加調 査を行うと良いでしょう。

代表的な紙の資料については、別途掲載している『参考資料:明治~昭和の 雑誌記事を探すために有効な冊子資料について』をご覧ください。 ご自身の研究に利用できそうな資料については、ぜひ一度現物を手に取って 確認してみてください。

紙の資料の活用のポイント

Point1:自分の探索内容や制約条件によって使い分ける

- ・ある特定の雑誌に的を絞った研究(=雑誌が制約条件→総目次)
- ・ある人物の著作をできるだけ集めたい(=人物が制約条件→人物文献目録)
- ・ある事件・事象を扱った記事を集めたい(→件名索引のある資料が便利)

Point2:索引を有効に活用する

索引があるかどうか必ず確認し、あれば正確に活用

Point3:収録内容や採録基準を把握する

凡例のページなどで、「何を探せていて、何を探せていないか」を明確に意識して活 用

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

最後に、書誌索引や参考図書といった、紙の資料の活用のポイントを紹介し ます。

1つ目のポイントとしては、自分の探索内容や制約条件によって使い分ける ことです。

これが明確化すれば、自ずと利用するべき資料のジャンルが決まってきます。

2つ目のポイントとしては、索引を有効に活用することです。 索引の利用方法を確認した上で正確に活用すれば、調査効率がかなり向上し ます。

3つ目のポイントとしては、収録内容や採録基準を把握した上で使うことで す。

これはデータベース活用のポイントと同じで、自分が何を探せているのかを 理解した上で使う、ということです。

紙の調査ツールには、多くの場合「凡例」というページが冒頭に存在してい て、そこに収録内容や採録基準の掲載があります。

冒頭で触れたように、明治から昭和期の日本の雑誌記事検索においては、 データベースに収録の無い情報もまだ多いです。 データベースに加えて、紙の資料も有効に活用していきましょう。

2.新聞記事情報の探し方

E-learning教材

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方 2021.7 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当

第2部として、新聞記事情報の探し方を紹介します。

探索ツールの概要

新聞ごとのデータベースの活用が基本

大手4紙(朝日・読売・毎日・日経)は阪大でデータベースの契約あり 記事検索ツールとしては、ほぼこれだけ

留意点:紙面画像があってもキーワード検索が全くできない部分がある →各データベースのキーワード検索が有効な範囲をきちんと把握して活用する →キーワード検索が効かない部分は、紙面画像を目視確認していくしかない

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

まず、新聞記事情報の探索ツールの概要です。 朝日・読売・毎日・日経の4つの全国紙については、大阪大学で有料のデー タベースの契約があり、大阪大学ご所属の皆様は利用可能です。 記事検索ツールとしては、基本的にこれだけです。

これらのデータベースを使う際の留意点としては、キーワード検索が有効な 範囲をきちんと把握して使う、ということに尽きます。 紙面画像の収録があっても、記事検索は全くできないような部分も多いです。 後ほど、各データベースのキーワード検索可能な範囲について、詳しく解説 します。

日本の全国紙の特徴を理解する

各本社版や地域面の存在を意識する

引用情報などから、特定の記事を探してみたけどなぜか見つからない・・・ →**必ずしも東京本社版の記事とは限らない**。大阪本社版などの別の本社・支社版や、地域面に掲載の 可能性も視野に。

各本社版

日本の大手全国紙の場合、国内をいくつかのエリア(=本社・支社)に分け、そのエリアごとに紙面 編集を行っている。

そのため、各本社版ごとに採録記事や記事内容が異なっていたり、記事掲載面が異なっていたりする。

地域面

都道府県(もしくはさらに細かいレベル)にて編集されている面。 ローカルニュースの掲載のほか、地域面内で連載が持たれるようなことも。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

日本の新聞記事情報を探すにあたり、1つ理解しておくべきポイントを説明 します。

日本の大手全国紙の場合、日本全国を「本社版」と呼ばれるいくつかのエリ アに分けたうえで、エリアごとに紙面編集を行っています。

そのため、本社版ごとに採録記事や記事内容が異なっていたり、記事掲載面 が異なっていたりします。

日常生活では、同じ日付の、異なる本社版の新聞を手に取ることはなかなか 無いので、イメージがわきにくいと思います。

例えば、この後紹介する「朝日新聞 聞蔵IIビジュアル」の明治〜昭和期では、 各本社版の紙面画像を利用することができるので、過去の同じ日付の紙面を 比較してみていただくと面白いと思います。

加えて、「地域面」と呼ばれる面があります。これは、都道府県、もしくは さらに細かいレベルで編集されているページです。

ローカルニュースの掲載のほか、地域面内で連載が持たれるようなこともあ ります。

引用情報から特定の記事を探したが見つからないという際には、東京本社版 以外の本社版や、地域面に掲載されている可能性も検討する必要があります。



新聞データベースへのアクセス方法を紹介します。

大阪大学のキャンパス内からアクセスする際には、

1. 附属図書館Webサイトトップページの「クイックサーチ」で「データベース」タブに切り替える
 2. 「よく使われるタイトル」の中の「新聞」カテゴリの中から、利用したいデータベースを選択という手順です。

大阪大学のキャンパス外からアクセスする際には、

- 1. 附属図書館Webサイトトップページの「キャンパス外から電子リソース を使う」のアイコンをクリック
- 「データベースへのアクセス」の中から、該当のデータベースをクリック
 大阪大学個人IDとパスワードでのログインを行う
- という手順です。

各データベースとも、契約上、大阪大学内で同時に利用できる人数が決まっていますので、使い終わったら速やかなログアウトにご協力をお願いいたします。
①朝日新聞 聞蔵IIビジュアル

大阪大学で契約している有料データベース

収録範囲の概要

東京	「縮刷版」タブ		1888	創刊~1	999: 1	2事見出	し+キー	ワード	捜索 / 紙	面画像	あり					
	「1985~」タブ												1984.8	8~記事	全文検索	R
													※紙面画	像は20	05.11~	-
大阪	「縮刷版」タブ	1	879創刊	~ 1999	7:紙面	画像あり	。以下(の期間の	み記事見	出し+	キーワー	- ド検索	ল.			
			東京創刊ま	ての187	9~188	8、東京	休刊の1	123/9/2	~ 1923							
		•		明治・大部	E開から選	定した重	要記事約	2,000#4	1検索可。							
	「1985~」タブ												198	9.2~\$	事全文柱	夫索
													* M	面画像は	2005.11	~
名古屋·西部	「縮刷版」タブ							194	10.9~19	199:1	(面画像)	6り、記	事検索不可	可。		
	「1985~」タブ												198	9.4~1	事全文柱	夫索
													38. 86	面画像は	2005.11	~
北海道	「縮刷版」タブ							194	0.11~19	199 : #	面画像あ	り、記事	失索不可。			
								•	年代は欠	号してい	る (収録	準備中)				
	「1985~」タブ												199	19.6~\$	事全文相	東索
													※紙	面画像は	2005.11	~

ここから、具体的なデータベースについて詳しく紹介していきます。 1つ目に紹介するデータベースが、朝日新聞 聞蔵IIビジュアルです。

紙面画像の収録範囲を見てみましょう。 東京本社版と大阪本社版は創刊号からの収録です。名古屋本社版や西部本社版、北海道支社版は1940年代からの収録です。 かなり広い年代の紙面画像を聞蔵IIでは持っています。

次に、キーワード検索可能な範囲です。 東京本社版は、記事見出しと、その記事に対して聞蔵IIが付与しているキー ワードに対して検索できます。創刊号から全て検索できるので便利です。

大阪本社版については、紙面画像は全てあるのですが、検索できる範囲はか なり限られています。東京朝日新聞が創刊されるまでの年代と、東京が関東 大震災の影響で休刊していた期間のみキーワード検索が可能です。 そして、名古屋本社版や西部本社版、北海道支社版については、明治から昭 和期の記事検索は全くできません。

このように、紙面画像を利用できることと、記事を検索できることは、全く 別になりますので要注意です。

①朝日新聞	間蔵IIビジュアル	
朝日新聞 記事データベース 留蔵①	ビニゴュアル English ● 使い方 ? 利用規定 → 横断検索 ▼選択	
朝日新聞 1985~ 週刊朝日・AERA 1879~1999		和期の記事検索には、 選択
本紙・地域面	全国の地域面 〇 戦前の外地版 (検索実行) クリア 「ANI	DIボタンをクリックすると、
	▲ ○ 工	が自動で挿入されて、 検索が可能です。 検索も同様の方法で です。
	明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方	37

【動画教材では、朝日新聞 聞蔵IIビジュアル での操作を実演しながら解説しています。】

こちらが聞蔵II ビジュアルの最初の画面です。 明治~昭和期の記事検索の際は、「朝日新聞縮刷版 1879~1999」のタブに 切り替えます。

AND検索とOR検索も可能です。 それぞれキーワード検索窓下の「AND」「OR」ボタンをクリックすること で設定できます。

ここでは、「足尾銅山」と「鉱毒」という2つのキーワードでAND検索してみます。



【動画教材では、朝日新聞 聞蔵IIビジュアル での操作を実演しながら解説しています。】

こちらが検索結果一覧です。各記事について、本社版や朝刊・夕刊区別など も表示されています。

「足尾銅山」「鉱毒」という2つのキーワードを含むものももちろんヒット していますが、例えば一番上の「鉱毒一件の紛擾(ふんじょう)」という記 事には、「足尾銅山」というキーワードは含まれていません。

これは、各記事に対して聞蔵IIビジュアルが付与している検索キーワードに 合致したためです。

検索結果の「◆書誌詳細」をクリックすると、その記事にどのようなキー ワードが付与されているか確認できます。

自分で検索キーワードを検討する際にも、参考にできるので便利です。



【動画教材では、朝日新聞 聞蔵IIビジュアル での操作を実演しながら解説しています。】

次に、ある特定の日付の紙面を確認したいときです。 この場合は、「発行日」の箇所で日付を指定したうえで、「発行紙を検索」 ボタンをクリックする、という手順になります。

画面上部の「検索実行」ボタンをクリックしてしまうと、キーワード検索可 能な紙面しか検索結果に出てこないので要注意です。 収録範囲のところで説明したとおり、東京本社版以外は、明治~昭和期に関 してはほぼ記事検索ができませんので、実質的に「発行紙を検索」ボタンか ら紙面画像を利用するしかない、という状況となります。

①朝日新聞 聞蔵IIビジュアル

発行紙を検索」ボタンからの	総件数:1	6件 通し番号:1	~ 16		
検索結果一覧 	No.	発行日	発行社	刊種別	紙面イメージ /サムネイル一覧
	00001	1941年12月 8日	東京	朝刊	
	00002	1941年12月 8日	東京	号外	
	00003	1941年12月 8日	大阪	朝刊	
	00004	1941年12月 8日	西部	朝刊	
	00005	1941年12月 8日	名古屋	朝刊	
	00006	1941年12月 8日	名古屋	号外	
	00007	1941年12月 8日	北海道	朝刊	
	00008	1941年12月 9日	東京	朝刊	
	00009	1941年12月 9日	東京	夕刊	

【動画教材では、朝日新聞 聞蔵IIビジュアル での操作を実演しながら解説しています。】

例えば、1941年12月8日~12月9日の日付で検索すると、利用できる紙面リストが表示されます。

このように、各本社版の画像が利用できるようになっています。

②読売新聞 ヨミダス歴史館

大阪大学で契約している有料データベース

収録範囲の概要

東京 明治・大고 平成・令利	E·昭和 1874	創刊~1	Q Q Q : 4			1000	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	202
平成・令利	n		101.444	面画像ま	59、言	己事見出	し+キ-	-ワード	検索が	可能					
												1986.9	9~		
												記事全文検索+キーワード検索			
												※紙面画	像は200	8.12~	
大阪・西部・平成・令利	0											19	90~		
中部												記事	全文+キ	ーワードキ	大宗

2つ目に紹介するデータベースが、読売新聞 ヨミダス歴史館です。

こちらもまずは、収録範囲を見てみましょう。

東京本社版は創刊号から紙面画像があり、記事見出しとその記事へヨミダス 歴史館が付与しているキーワードに対して検索できます。データベース側で 検索キーワードを追加で付与しているという点は、聞蔵IIビジュアルと同じ ような形ですね。

一方、東京本社版以外は、紙面画像閲覧も記事検索も全くできないという状況です。

2	売売新	間 ヨミダス歴史館	
ТОР	明治・大正・昭和 1874 - 1989	図和の地域版 平成・令和 The Japan News 1933 - 2001 1986~ 1989~	明治~昭和期の記事検索には、 このタブを選択
歷史館TOP > 明治	合・大正・昭和検索		
検索語	検索語を入力して AND OR NOT	Cください。異体字も含めて検索します。 Q 検索する	「AND」ボタンをクリックすると、 AND検索が可能。
検索方式	O見出し検索	→見出しのみを検索対象とします。連載名を[]で囲むと空回力を成正、さます 言葉の揺らぎ(表記の多様性)を ●含めて検索 O含めないで検索	「OR」検索も同様の方法。
	◎キーワード検索	→記事ごとに登録されたキーワードを検索対象とします。通常はこちらで。	より高度な検索方法は、
	順序	○新しい順 ◎古い順	「検索サポート便利帳」を参照。
記事一覧表示	件数	○10 ○20 ○30 ○40 ●50 ○100	
	 検索対象区分選択 	 ● すべて ○ 区分毎 □ 明治 □ 大正 □ 昭和戦前 □ 昭和戦後 	
検索期間	○日付範囲 ○日付一致	 ●西留 一年月日~年月日日 ○和器 第883 年月日~ 第833 年月日 	

こちらがヨミダス歴史館の最初の画面です。

明治~昭和期の記事検索の際は、「明治・大正・昭和 1874~1989」のタブ に切り替えます。

AND検索とOR検索も可能です。

それぞれキーワード検索窓下の「AND」「OR」ボタンをクリックすること で設定できます。



日付や期間を指定して紙面を閲覧したいときは、「検索期間」欄で「日付範 囲」もしくは「日付一致」にチェックを入れたうえで、日付を入力して検索 してください。

ヨミダス歴史館ではその日付の紙面画像全体へ直接進むことはできず、いず れかの記事を開いたうえで、そこからページを切り替えて閲覧していくとい う形になります。

③毎日新聞 マイ索

大阪大学で契約している有料データベース

収録範囲の概要

東京	紙面検索	18	72創刊	1~199	79:紙	面画像	のみ、	検索不	可							
	記事検索	18	72創刊	1~198	36:紙	面画像。	あり、	主要記	事見出	しでの材	検索のみ		1987	~		
													記事全 ※紙面	文検索 画像は19	99年ま	τ.
大阪	紙面検索	18	76創刊	~ 94	42:紙	面画像	のみ、	検索不	可							
	記事検索												199	70.10~1	己事全文相	索
													※網	低面画像無	L	
中部・西部・	記事検索													1994/1	995~	
化海道														記事全文	検索	
														※紙面画	像無し	

3つ目に紹介するデータベースが、毎日新聞 マイ索です。

まず、紙面画像の収録範囲を見てみましょう。

東京本社版は創刊号から1999年まで、大阪本社版は創刊号から1942年までの 収録です。

大手紙の中では最も古い1872年から収録があります。

キーワード検索可能な範囲は、東京本社版の中でも主要な記事見出しのみで す。「主要」な記事のみが対象ですので、全ての記事に対して検索はできて いません。

ここまで紹介してきた2つのデータベースと比べると、キーワード検索可能 な記事数が大きく異なっているのが現状です。

③毎	日新聞マイ索
	毎日新聞社のデータベース マイサク おしらせ ◆毎日ヨロンサーチに、2018年7月~2018年12月の調査結果を追加しました。
	検索 記事をキーワード検索したいときは、 ここから。 毎日新聞と透刊エコノミストがキーワードと日付で模断検索できます ※ただし、明治~昭和期は東京版の主要記事 見出しての検索しかできない。 日付や期間を指定して
	詳細検索 紙面を通覧したいときは、 ここから。 第6日新聞記事検索 新行 田小爾配:0-(ス株:・地方版)を 日付、キーワード検索できます 取得問問:1872年(明治5)~現 在 新行 町日、町間紙面検索 W3時間:1872年(明治5)~現 在 新行 町日、 取得問問:1872年(明治5)

こちらがマイ索の最初の画面です。

キーワードでの記事検索を行いたい場合は「毎日新聞記事検索」から、 日付を指定して直接紙面画像を見たい場合は「毎日新聞紙面検索」からとな ります。

画像収録範囲や検索可能範囲の比較 フード検索は不可です。
キーワード検索可能な範囲
対象:東京版(+一部の年代の大阪版) 月~ 記事見出し+聞蔵IIビジュアルが付与した キーワードで検索が可能。
対象:東京版 記事見出し+ヨミダス歴史館が付与した キーワードで検索が可能。
対象:東京版の 主要記事のみ 記事見出しで検索が可能。

こちらの表は、ここまで紹介してきた3つのデータベースの収録範囲をまとめたものです。

収録範囲やキーワード検索可能な範囲が大きく異なりますので、それを意識 して活用していく必要があります。

各本社版や地域面の記事検索

明治~昭和期は東京本社版以外の記事はキーワード検索できない

(朝日新聞 聞蔵IIビジュアルで一部年代の大阪本社版を検索できる例外を除く)

そのため、引用情報をもとに東京本社版を確認して掲載が無い場合、どの本社版や地 域面に掲載がありそうか推定するしかない。記事の内容や、著者の在住地・出身地な どを手掛かりに。

データベースに紙面画像が無い場合も、各本社版や地域面を所蔵している図書館へ掲 載調査依頼をすることはできる

→総合図書館参考調査カウンタなど、お近くの図書館へご相談ください

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

第2部の冒頭でも紹介した各本社版や地域面の記事検索について少し補足し ます。

明治〜昭和期に関しては、東京本社版以外の本社版の記事や地域面の記事を キーワード検索する手段はありません。

実際の紙面画像を確認していくしか方法が無いということになります。

引用情報等をもとに東京本社版を確認して掲載が無い場合、記事の内容や著 者の在住地・出身地などを手掛かりに、どの本社版や地域面に掲載がありそ うか見当をつけるしかありません。

見当をつけた後、その紙面画像を確認します。データベースに紙面画像が無い場合も、各本社版や地域面を所蔵している図書館へ、掲載有無の調査依頼 を行うことは可能です。

あきらめずに、総合図書館参考調査カウンタなど、お近くの図書館までご相 談ください。



大阪大学で契約している有料データベース

収録範囲の概要

		1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020		
東京	記事検索	197	5.1~19	81.9:a	記事見出し	+一部記	事の抄録の	のみ(画作	▶・全文 と	とも無し)			
	(日本経済新聞朝刊)		1981.10~:記事全文検索										
	/ 2 107	988.6~:紙面画像あり											
各本支社	記事検索	1976.1~1982.10:記事見出し+一部記事の抄録のみ(画像・全文とも無し)											
記事	(日経地方経済面)	1982.11~:記事全文検索											
·						1993.	~:紙副	面画像あ	9				

大阪大学の契約上、本文全文を読むことができる範囲は1981年以降のため、 明治~昭和の記事検索という観点ではあまり利用シーンは無い。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

4つ目のデータベースとして日本経済新聞日経テレコンに触れておきます。 日経テレコンについては、大阪大学の契約では、1981年以降しか記事全文を 読むことができません。

そのため、明治~昭和の新聞記事を探す、という観点からは基本的には使う シーンは少ないデータベースとなります。



大手4紙以外の新聞についても、記事検索データベースが構築されてきてい ますが、昭和期まで遡っているものは見当たらないのが現状です。 紙の資料として、索引類などの調査ツールが刊行されているものは一部存在 します。

大手4紙も含めて、各新聞についてのより詳しい情報は、別途掲載している 『資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方』をご覧ください。

有用な無料のデータベース

神戸大学新聞記事文庫(無料のデータベース)

http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/

神戸大学経済経営研究所が選別・収集した新聞記事をデジタル化したもの。採録紙は 大阪の主要紙・経済紙を中心に幅広く、経営・経済を主体として広い分野を扱う。収 録対象は明治末~昭和45年にかけて。本文の全文検索も可能。

その他、新聞広告が対象のデータベースもあり。 ※別途掲載の『資料別調べ方ガイド③新聞資料の探し方』B2-2参照

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

無料で公開されているデータベースでも新聞記事情報を探す際に有用なもの があります。

神戸大学新聞記事文庫は、神戸大学経済経営研究所が長年に渡り収集した切抜き記事集をデータベース化したものです。 明治末~昭和45年にかけて、経営・経済を主体としつつ広い分野の記事を集めています。

本文の全文検索ができる、という点も大きな特徴です。 http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/

このほか、新聞広告を対象としたデータベースもあります。 『資料別調べ方ガイド③ 新聞資料の探し方』のB2-2をご覧ください。

3.実際に記事を入手する

E-learning教材

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方 2021.7 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当

最後に第3部として、雑誌記事・新聞記事を実際に入手する方法をご紹介します。

染住言	志記事:資料刑	/態のさまざま	
	復刻版	原本の紙面を撮影・複写などして作製した冊子。	
	マイクロフィルム	原本を縮小撮影したもの。専用の機械で閲覧する。	
	デジタル化資料	原本などをもとにデジタル化した画像。 デジタルアーカイブとして無料で公開されている ものや、データベースや電子ジャーナルとして販 売されているものなどさまざま。	
	全集やアンソロジー などへの収載	雑誌の一記事や、雑誌連載が後にこういった資料 に収載されることがある。 原本との異同が無いかは注意が必要であり、初出 を確認して原本等にあたるほうが望ましい。	
	明治~昭	和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方	

明治から昭和期の一般誌・大衆誌について、原本を閲覧できればそれに越し たことは無いのですが、なかなか保管されていないことも多いです。 原本が利用できなくても、複製して出版・提供されているものがあれば、有 力な入手手段となります。 紙の形態で複製出版されている「復刻版」、撮影画像を専用の機械で閲覧す る「マイクロフィルム」、インターネット上で有料・無料で提供されている 「デジタル化資料」など、さまざまな形態を視野にいれつつ、入手を図って いきます。



新聞にも同様にさまざまな複製形態があります。 新聞の場合は、紙質や分量の理由から、原紙のままで保存されていることは 稀なので、こういった複製資料にあたるしかないケースも多いです。 第2部で紹介したデータベースに加えて、「縮刷版」や「マイクロフィル ム」などの複製物で利用できるものが多数あります。



本文入手に向けて、こちらの3段階で調査を進めていくのがおすすめです。

レベル1. デジタル化資料の有無の確認 レベル2. 大阪大学での紙資料等の所蔵有無の確認 レベル3. ILLサービスの利用

順番に紹介していきます。

レベル1:デジタル化資料の有無の確認

基本的には雑誌・新聞単位での利用可否を以下の2つで確認

・大阪大学OPAC 及び OPACに情報が反映されていない契約データベース

・国立国会図書館デジタルコレクション

※国文学研究資料館「近代書誌・近代画像データベース」にも図書を中心に雑誌・新 聞も公開画像あり。 https://base1.nijl.ac.jp/~kindai/ ※そのほか、ある機関が雑誌単位でデジタル化して公開していることもあるので、イ ンターネット上で情報を少し調べてみるのもアリ。

例:東京文化財研究所所蔵資料アーカイブズ「みづゑの世界」 http://mizue.bookarchive.jp/

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

まず、デジタル化資料の有無の確認です。雑誌・新聞単位での利用可否確認 が基本となります。

まずは、大阪大学で利用できるかどうかを確認、そして、国立国会図書館デ ジタルコレクションで利用できるかどうかを確認、の2つの方法で行います。



大阪大学OPACで雑誌名・新聞名で検索すれば、デジタル化資料の有無を確認できます。

https://www.library.osaka-u.ac.jp/

本教材で扱う一般誌や新聞だけでなく、学術雑誌についても同様です。

大阪大学で利用できるデジタル化資料は、OPACで検索できるというのが基本ですが、画面上に挙げているものは例外で、これらはOPACから検索できません。

各データベースから直接利用するしか無いので、関係しそうな方は覚えてお いてください。

レベル1:デジタル化資料の有無の確認

国立国会図書館デジタルコレクション

OPACには情報が登録されていないので別途検索する必要がある

公開レベルが「インターネット公開」もしくは「図書館送信限定」であれば利用できる

収録有無の確認方法

国立国会図書館デジタルコレクションで、雑誌名で検索すると、検索結果の並びが分かりづらい。 特定の雑誌の収録有無を調べる便利な方法は以下の2つ。

国立国会図書館オンライン https://ndlonline.ndl.go.jp/

雑誌名で検索して検索結果に 「デジタルン」があれば、デジタルコレクションに収録がある。このアイコンから、直接デジタルコレクションに進むこともできる。

雑誌分類検索 https://dl.ndl.go.jp/ja/serial.html

デジタルコレクションに収録されている雑誌を、その雑誌の扱う主題から探すことのできるサイト。 「この分野の雑誌が何か収録されていないかな」という探し方をしたいときに便利。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

国立国会図書館デジタルコレクションで利用できる資料も、OPACには情報 が入っていないため別途検索する必要があります。 日本の一般誌・大衆誌のデジタル化資料群としては最大のものなので、忘れ ずに検索してみるようにしましょう。

ある雑誌の収録有無を検索する際には、国立国会図書館デジタルコレクションで雑誌名を直接検索するよりも、ここに記載するような方法を使うほうが 分かりやすいかと思います。

国立国会図書館オンライン https://ndlonline.ndl.go.jp/

雜誌分類検索 https://dl.ndl.go.jp/ja/serial.html

大阪大学OPACを使えば各種形態をまとめて検索可能 OPACでは必ず雑誌・新聞タイトルで検索。記事名ではヒットしないので注意! 資料形態(原本、復刻版、マイクロフィルムなど)ごとに別々にヒットする。所蔵巻 号の範囲を要確認。
クイックサーチ 図書館webサイトトップ https://www.library.osaka-u.ac.jp/ 蔵書検索(OPAC)から

大阪大学で利用できるデジタル化資料が見当たらない場合は、次の段階として、大阪大学での紙資料等の所蔵有無を確認します。 こちらも、大阪大学OPACを雑誌名・新聞名で検索するという方法です。 復刻版やマイクロフィルムなど、原本以外もまとめて検索できます。

レベル2:大阪大学での所蔵有無の確認



OPACの検索結果画面を確認する時の注意点です。

まず、雑誌や新聞は刊行途中で名称が変更する場合があります。

例えば、この雑誌はひらがなの「ほとゝぎす」からカタカナの「ホトトギ

ス」へ名称が変更しています。このような場合、OPAC上は別の資料として ヒットしてきます。

また、原本のほかに復刻版がある場合も、このように別の資料としてヒット します。

それぞれ見逃しの無いようにしましょう。



OPACの所蔵巻号の読み取り方法に慣れていない方は、こちらの画面上の解 説を参考にしてください。

レベル3:ILLサービスの利用

Inter Library Loanの略称

図書館同士のネットワークで他の図書館の資料を利用するしくみ 阪大他キャンパスの図書館、他大学図書館、国立国会図書館など 公共図書館についてはお近くの公共図書館でお申込ください

申込は各図書館カウンターで

- ・申込受付と受取は平日9時~17時 ※総合図書館:取り寄せは相互利用カウンタ、訪問利用は参考調査カウンタへ。
- ・オンラインで申込もできる

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

大阪大学に紙資料などの所蔵も無い場合は、最後の手段としてILLサービスが あります。

ILLサービスとは、図書館同士のネットワークを利用する方法です。 阪大の他キャンパスの図書館はもとより、他の大学の図書館や国立国会図書 館などもこのネットワークに入っています。 ILLサービスについては、図書館の窓口で申し込みできるほか、附属図書館 Webサイトからオンラインで申込もできます。



ILLサービスでできることとして、まずこの2つがあります。

1つ目は複写の取り寄せです。雑誌記事であれば、この方法を使うことになります。

他の大学からの取り寄せの場合、取り寄せ先の大学によって料金が異なりま すが、見開き1枚あたりのコピーがおおよそ40~50円程度、それに加えて送 料がかかります。ですので、ページ数にもよりますが、1記事は数百円で入 手可能なことが多いです。おおよそ3日から1週間程度で到着します。 大阪大学内の他のキャンパスの図書館からの取り寄せもできます。こちらは 送料はかかりませんし、複写料金も見開き1枚で25円と、よりお安く手に入

2つ目は図書の取り寄せです。

ります。

これは、他の大学から図書そのものを取り寄せるサービスです。往復の送料 として1200~1500円程度を支払ってもらう形になります。雑誌は借りること ができないので、最初に説明した複写の方法のみ利用可能です。

どちらも、附属図書館Webサイト右上のWebサービス、文献複写・現物貸借 申込み、のところからオンラインでも申込可能です。

レベル3:ILLサービスの利用

3.訪問利用

直接、所蔵している図書館・研究機関に行く 阪大図書館が先方との間の仲介を行う Web申込×、3日前までに各図書館カウンターへ ※貴重資料の場合はもっと早めに(2週間前までを目途に)

関西大学との相互利用協定

関西大学(ミューズ大学図書館を除く)は予約なく、学生は学生証 / 教職員は教職員証ま たは大阪大学附属図書館利用者票の提示だけで利用できる 常勤教職員、大学院生、学部学生 が対象 →非常勤の先生、研究生などの方は通常の訪問利用の手続きが必要です

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ILLサービスとしてもう1つできることに訪問利用があります。 所蔵している大学や研究機関の図書館へ、皆さんが直接行くという形です。

例えば、ある雑誌のバックナンバーをまとめて閲覧したい、というような場 合に、有効な手段かなと思います。 阪大図書館が、行先の図書館との仲介をします。 とくに公立・私立大学の図書館ですと、直接行くだけでは入館できません。 阪大図書館を通じた事前申し込みの必要なところがほとんどです。

訪問利用は、Webでの申し込みを受け付けていませんので、行きたい日の3 日前までに図書館のカウンターへお越しください。 手続きをいたします。

利用希望資料が貴重資料ですと、手続きにさらに時間がかかることが多いで す。お早めにご相談ください。

もう1つお伝えしておくと、関西大学の図書館とは協定を結んでいるため、 事前連絡無しで直接訪問すれば利用できます。 ただし、対象は常勤教職員、大学院生、学部学生に限定されています。非常 勤の先生や研究生・聴講生の方などは、他の大学と同じように訪問利用の事 前手続きが必要ですのでご注意ください。

近くにある大きな大学の図書館ですので、使っていただくと便利だと思います。

(参考)所蔵機関を探せるツール CiNii Books https://ci.nii.ac.jp/books/ 国内大学・研究機関の所蔵資料の検索に。 これらが基本的なツールではありますが、 国立国会図書館オンライン https://ndlonline.ndl.go.jp/ 明治~昭和期の一般誌・大衆誌・新聞 国立国会図書館の所蔵資料の検索に。 の所蔵機関は難航する場合が多いです。 国立国会図書館サーチ https://iss.ndl.go.jp/ 国立国会図書館・都道府県立・政令指定都市の図書館所蔵資料の検索に。 カーリル ローカル https://calil.jp/local/ 図書館職員がお手伝いしますので、 都道府県ごとの図書館等の所蔵資料の横断検索に。 お気軽にご相談ください。 旧・全国新聞目録のデータ https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-700037.php#3 全国の図書館のマイクロフィルム、復刻版等の新聞所蔵リスト。(2021年3月31日で更新停止) 国立国会図書館リサーチナビ 戦前期雑誌の所蔵機関 https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-737.php 上述のツールで検索が困難な戦前期雑誌のおもな所蔵機関の個別検索に。 文学館研究会 文学館一覧 https://hiroyukiokano.wixsite.com/literarymuseum/blank-51 全国の文学館のリストとして。(ただし、更新は既に停止している) 明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

訪問利用の行先を検討する際に、所蔵機関を探せるツールとして、このよう なものがあります。

CiNii Books https://ci.nii.ac.jp/books/ 国立国会図書館オンライン https://ndlonline.ndl.go.jp/ 国立国会図書館サーチ https://iss.ndl.go.jp/ カーリル ローカル https://calil.jp/local/ 旧・全国新聞目録のデータ https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-700037.php#3 国立国会図書館リサーチナビ 戦前期雑誌の所蔵機関 https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-737.php 文学館研究会 文学館一覧 https://hiroyukiokano.wixsite.com/literarymuseum/blank-51 これらが基本的なツールではありますが、明治~昭和期の一般誌・大衆誌・

これらか基本的なワールではありますが、明治~昭和期の一般誌・大衆誌・ 新聞の所蔵機関調査は難航する場合が多いです。 所蔵機関がよくわからないときは、お近くの図書館までお気軽にご相談くだ さい。

本教材のまとめ

最後に、本教材のまとめです。

まとめ:記事情報の探索

雑誌記事情報

複数のデータベースを併用する(それぞれにしか収録の無いものがある) 必要に応じて、紙の書誌索引・参考図書も併用する

新聞記事情報

基本的な探索方法は、新聞ごとのデータベースの活用 キーワード検索が有効で無い部分については、紙面画像を目視確認するしかない 特定の記事を捜索して見つからない場合、各本社版や地域面の存在を意識する

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

雑誌記事情報の探し方について、第1部で紹介しました。

それぞれのデータベースにしか収録の無い情報があるので、複数のデータベースを併用することが大切です。

また、必要に応じて、書誌索引や参考図書といった紙の資料も活用して行き ましょう。

新聞記事情報の探し方について、第2部で紹介しました。

大手全国紙については、新聞ごとのデータベースを活用することが、基本的 な探索方法です。

これらのデータベースは、キーワード検索が有効な部分をよく理解した上で 活用するようにしましょう。

特定の記事を捜索しても見つからない場合は、東京本社版以外の各本社版や 地域面の掲載記事である可能性もあります。



第3部では、記事本文の入手方法について紹介しました。

デジタル化資料を確認し、次に大阪大学での紙資料などの所蔵有無を確認します。

それでも見つからなければ、ILLサービスの利用も視野に入れます。

大学図書館の所蔵資料は、その性格上どうしても、学術書や学術雑誌が中心 です。

そのため、明治~昭和期の日本の一般誌・大衆誌・新聞となると、ILLサービ スの利用を視野に入れるしか無いケースも出てきます。 必要に応じてご活用ください。

(参考)国立国会図書館リサーチ・ナビ
国立国会図書館が作成している、テーマ・資料別等の調べ方ガイド。各項目について、調 査に有用な資料・Webサイトを多数紹介している。 https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/
本講習会の内容作成にあたって、リサーチ・ナビの以下の項目を参照しました。 雑誌の総目次を探す/雑誌記事索引 / 文学作品の初出を調べる / 戦前期雑誌の所蔵機関 書評を探す / 人物文献 (伝記など)を探す / 国立国会図書館所蔵の内務省交付本 プランゲ文庫の検索 / Gordon W. Prange Collection 主題書誌(関連文献リスト)を探すには / ジャーナリズム・出版に関する文献を探すには(主題書誌) 音楽に関する文献を探すには(主題書誌) 美術・建築に関する文献を探すには(主題書誌) 両劇・映画に関する文献を探すには(主題書誌) 日本文学に関する文献を探すには(主題書誌)
明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

最後に、参考情報として、「国立国会図書館リサーチ・ナビ」というサイト を紹介します。 国立国会図書館が作成している、テーマ・資料別の調べ方ガイドです。 https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/

本教材で扱ったような、情報の探索・入手が難しい情報について、とくに内 容が充実しています。 分野名などのキーワードで項目を探すことができるので、研究に参考になる 項目が無いか、ぜひご確認ください。

ご相談ください

総合図書館参考調査カウンター [平日9:00~17:00]

sogo-ref@library.osaka-u.ac.jp

雑誌記事・新聞記事の書誌情報調査 雑誌・新聞の所蔵調査

ある調査事項についての文献調査 etc.

対面・メールでのご相談の他、オンライン相談も受付中です。 https://www.library.osaka-u.ac.jp/gakunai/sougou/reference/

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

本教材でご案内してきた明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事については、 情報が集約されておらず、いろいろな手段を使って検索するしかないという のが現状です。

本教材の内容を活用しても、やはり情報が見つからないというケースもある かと思います。

そういったときは、図書館職員までお気軽にご相談ください。 総合図書館では参考調査カウンタで調査相談をお受けしています。対面・ メールのほか、Zoomを活用したオンライン相談も受付中です。 生命科学図書館・理工学図書館・外国学図書館の各図書館のカウンタでも相 談をお受けしていますので、お困りの際はまずはお近くの図書館にご相談く ださい。

この教材はこれで終了です。 受講してくださりありがとうございました。

参考文献など

阿部幸江 (2018)「国立国会図書館オンラインの目次データを使用した資料の検索方法」『参考書誌研究』79, pp.15-59. 長澤雅男, 石黒祐子 (2016)『レファレンスブックス:選びかた・使いかた』三訂版, 日本図書館協会.

日本出版学会関西部会編(2019)『出版史研究へのアプローチ:雑誌・書物・新聞をめぐる5章』出版メディアパル.

藤巻修一 (2013)「『雑誌記事索引集成データベース』の誕生と機能:明治初期からの雑誌記事検索を可能にした『ざっ さくプラス』」『みんなの図書館』435, pp.10-18.

毛利和弘 (2019)『文献調査法 : 調査・レポート・論文作成必携 : 情報リテラシー読本』第8版, 日本図書館協会.

本教材で使用した国立国会図書館デジタルコレクションの画像や操作画面については、国立国会図書館へ事前に転載許諾を取っていることを申し添えます。

また、国立国会図書館デジタルコレクション以外のデータベース操作画面の画像につきましては、事前に提供元へ使用条件を確認のうえ、その許可範囲内で使用しております。国立国会図書館デジタルコレクションも含めて、データベースの 操作画面の画像について、本資料からの二次的な転載はご遠慮ください。

明治~昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方